

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成24年5月分)

ご協力ありがとうございました。平成24年5月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 164社 回答 157社 回答率 95.7%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	13社 8.3% (6.8)	14社 8.9% (11.6)	64社 40.8% (28.6)	50社 31.8% (37.4)	16社 10.2% (15.6)	157社 100.0% 100.0	30社 19.5% (19.3)	24社 15.6% (14.5)	45社 29.2% (23.4)	35社 22.7% (27.6)	20社 13.0% (15.2)	154社 100.0% 100.0
売上高	12社 7.7% (6.2)	15社 9.6% (11.6)	65社 41.7% (29.5)	50社 32.1% (34.9)	14社 9.0% (17.8)	156社 100.0% 100.0	25社 16.3% (16.7)	28社 18.3% (14.6)	44社 28.8% (22.9)	35社 22.9% (28.5)	21社 13.7% (17.4)	153社 100.0% 100.1
在庫数量	3社 2.0% (2.1)	30社 19.9% (18.2)	79社 52.3% (55.9)	31社 20.5% (21.0)	8社 5.3% (2.8)	151社 100.0% 100.0	17社 11.6% (12.1)	28社 19.0% (18.4)	57社 38.8% (37.6)	30社 20.4% (22.0)	15社 10.2% (9.9)	147社 100.0% 100.0
販売単価	0社 0.0% (2.1)	3社 2.0% (3.5)	104社 68.4% (68.3)	43社 28.3% (25.4)	2社 1.3% (0.7)	152社 100.0% 100.0	1社 0.7% (0.7)	10社 6.8% (5.1)	54社 36.5% (45.7)	65社 43.9% (37.7)	18社 12.2% (10.9)	148社 100.0% 100.1
収益状況 (粗利)	10社 6.5% (2.8)	17社 11.1% (12.5)	66社 43.1% (46.5)	48社 31.4% (26.4)	15社 9.8% (11.8)	153社 102.0% 100.0	16社 10.7% (9.2)	24社 16.0% (9.9)	59社 39.3% (44.4)	31社 20.7% (23.2)	20社 13.3% (13.4)	150社 100.0% 100.1
稼働率 (生産・加工設備)	6社 4.7% (3.3)	7社 5.5% (6.6)	69社 54.3% (46.7)	32社 25.2% (32.8)	13社 10.2% (10.7)	127社 100.0% 100.1	11社 8.8% (12.6)	21社 16.8% (11.8)	54社 43.2% (41.2)	27社 21.6% (24.4)	12社 9.6% (10.1)	125社 100.0% 100.1
入出庫の トラック台数	5社 3.4% (2.1)	7社 4.7% (9.2)	74社 50.0% (50.7)	52社 35.1% (29.6)	10社 6.8% (8.5)	148社 100.0% 100.1	13社 9.0% (11.7)	19社 13.2% (10.2)	62社 43.1% (43.8)	39社 27.1% (23.4)	11社 7.6% (10.9)	144社 100.0% 100.0
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	1社 0.7% (0.0)	3社 2.0% (6.6)	60社 40.3% (39.4)	55社 36.9% (34.3)	30社 20.1% (19.7)	149社 100.0% 100.0	2社 1.4% (1.6)	31社 21.8% (24.8)	79社 55.6% (58.1)	23社 16.2% (13.2)	7社 4.9% (2.3)	142社 100.0% 100.0
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(5月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 5月中旬より荷動きが活発化してきた。EUのギリシャ問題もあり、世界情勢への不安が大きいため、在庫は極力少なくしておきたい。
- ② 流通は、メーカー値上げ表明で、下げられず。需要不振で上げられず。市況、荷動きともに閉塞感が強く、袋小路に入った感がある。当面、視界不良が続く。
- ③ 連休明けの荷動きは低調。4月比、稼働日は1日多いが、売上減となった。ヨーロッパ経済情勢不安、中国、米国の景気後退、政局不安とネガティブな要素ばかりで、株安、円高も重なり、しばらくは視界不良が続きそうだ。中小規模の末端ユーザーは、資金繰りへの不安が増して来ており、いっそうの注意が必要となって来た。期末を乗り越えたが、仕事量の増加が望めない現状を抱え、苦勞している状況が見える。実需不足下での材料価格、スクラップ価格上昇は厳しい局面といえる。
- ④ 月を追うごとに状況は悪くなっており、価格も底値と思われていたが、更に下回る価格が出始めている。値段を下げて得をする業者は一つもないのだが、数量確保や工場稼働のためか安値が出回っている。需要自体も落ち込んでおり、何ヶ月後になるか未定の復興の仕事が出るまでに、ユーザーの体力がもつかが心配である。
- ⑤ スクラップの市況続落で一般店売り材の価格にも影響が出そうだ。
- ⑥ 好況、不況の波も少なく、この状態でしばらくは推移していくと思われる。我慢の年となるか。
- ⑦ 建築需要の動きは停滞基調にあり、回復を待つも、本年後半まで期待薄のようである。ステンレス関係はNi価格の低下と需要減退で、荷動きは低迷状態が続いている。鋼板価格も値上げを容認出来る市場環境にはなく、需要喚起の起爆剤が必要な情勢である。

中板

- ① 荷動きは4月比やや減少で推移。メーカーの店売り値上げには、マーケットに動意なく、販売価格は現状維持が精一杯。需要底上げの要素が見当たらず、当面、横這い状況が続くと思われる。

厚板

- ① 3、4月にピークであった橋梁が一段落し、また鉄骨が端境期を迎えていることから、当月の生産量は通常ペースに戻っている。鉄骨案件の出荷が見込まれる夏場以降まで、この状態が続く見込みである。高炉メーカーの厚板値上げ表明により、価格的には先高感はあるが、足下は建設関連需要の低迷により、店売り分野も含めた荷動きは活発でない。

一般形鋼

- ① 出て来ると聞いていた案件も、客の取り合いで安くなっている。PC造が多くなって、一般形鋼が減って来ている。
- ② 前月同様、連続して前年同月比の売上と販売数量はわずかながら減少した。東日本の物流網が断絶、混乱した時期より悪化する要因については特定できない。例年の第1四半期低迷論なら、7月から回復するはずである。今年もぜひ例年通りに回復してもらいたい。

HI形鋼

- ① 需要が回復せず、むしろ減少している。メーカーの生産量は増加して在庫も多い。したがって市況は弱含みになっている。
- ② 5月の荷動きは4月比で更に落ち込み、6月に入っても変化なし。4月契約の値上げ玉も入荷しているが、荷動き低調につき、販価に反映されず、在庫店としては苦しい局面になっている。

軽量形鋼

- ① 昨年同月については、震災の影響と不需要期が重なり、まさに「どん底」の実績となっていたため、前年同月比では好転している。荷動きの見通しは、暑くなるにつれ忙しさが増していくと見込まれるものの、販売価格は低迷を続けており、工事価格の低さと職人の日当上昇のしわ寄せが、材料全てに来ているように思える。

異形棒鋼

- ① メーカーによる小ロット持ち込み販売は、市況回復の足かせになるので、特約店に任せてほしい。
- ② 5月の倉出しは、前月に比較すれば少し良かったが、まだ通常水準に達していない。スクラップの値下がりとともに先行きは不透明になっている。高い在庫とメーカーも一応建値を付けている中、価格を維持し販売するしかない。

平鋼

- ① 実需不振、荷動き低調。スクラップ安による相場ダウンによる在庫打たれが心配。

鋼管

- ① 5月は4月比では微増だったが、全体としては非常に低調である。営業日数から推測すると6月、7月は上がって行くはずである。

構造用鋼

- ① 自動車、建設機械は堅調を維持するも、店売りは荷動き低調。市況も安値が散見され、弱含み。
- ② 需要動向については、自動車関連はエコカー補助金効果もあり、堅調に推移しているが、下期については不透明感が強くなっている。一方、建設機械関連は、機種、向け先によって格差が大きくなっており、全体的にやや減少傾向となっている。仲間売り等の店売り分野の動きは変化なく、盛り上がりを欠いている状況が続いている。市況については、大手紐付き価格の値下げの影響もあり、弱含みとなっている。

その他

<曲げ加工>

- ① 5月、鉄鋼関係は全般的に低迷だったと思う。中頃より急激に加工も減少し、鉄鋼商社等の大きなプロジェクトもなく、加工単価も下落気味で、なかなかやり難くなっている。

<スクラップ>

- ① 世界経済に左右され、スクラップも調達、即納。在庫も減少。

<金属表面処理加工>

- ① 5月は物件物、紐付きとも計画通り。スポットは1件当たりの物量が多く、計画より10%増加し、売上も大幅増となった。先物件の見積り依頼も引き続き多く見られ、6月、7～9月以降に期待。6月も物件物、紐付きを中心に安定した操業が出来そうである。